

アラカルト講座を実施しました！

2026年6月24日（水）に1年次を対象とした「アラカルト講座」を行いました。

今年度は13名の先生方に研究の専門分野や社会との関係等についての講義をしていただきました。



講師	所属	テーマ
柴田 正輝 先生	福井県立大学 恐竜学部 教授	恐竜学 ～化石から恐竜を復元する科学～
岸本 直子 先生	関西学院大学 工学部 教授	航空宇宙工学に関わる研究と仕事
鳴沢 真也 先生	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 専任講師	宇宙人おる？おらん？だから、どーなん？ （地球外知的生命探査概論）
福本 優 先生	兵庫県立人と自然の博物館 研究員	暮らしと都市をつなぐ研究
太田 菜央 先生	兵庫県立人と自然の博物館 研究員	コミュニケーションってなんだろう？ 一鳥の求愛行動から考えるー
松本 修二 先生	姫路市手柄山温室植物園 研究員	絶滅危惧種を守る ー植物園における域外保全ー
アクマタリエフ ジャクシルク 先生	東京大学附属図書館アジア研究図書館 U-PARL 特任研究員	ことばを記録する：危険言語とその世界
浅井 一秀 先生	アース製薬株式会社研究開発本部 赤穂研究部	理系への誘（いざな）い 地球（アース）には科学が詰まってる！！
西川 和良 先生	株式会社ダイセル イノベーション・パーク 首席技師	企業での研究活動紹介 有機化合物を用いた製品開発
本丸 勝也 先生	兵庫ベンダ工業株式会社 代表取締役社長	実学のすすめ～「好き」を社会につなげる
権 哲昊 先生	monoAI technology 株式会社 AI-X コンサルティング事業部 部長	AI とXR で未来を作る
瀬戸山 晃一 先生	京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授	生命倫理（バイオエシックス）とは何か？ ～その基本原則と具体的事例を考えてみる～
鶴田 宏樹 先生	神戸大学 バリュースクール 教授	価値創造の考え方



生徒たちは自身が希望する2つの講座を受講しました。どの講座でも専門的な内容をわかりやすく説明していただき、探究活動の進め方や自分の進路について考えるためのアドバイスもたくさんいただきました。講義後、友人と受講した講座の内容について話し合う生徒や、講師の先生に質問をしている生徒の姿をたくさん見かけました。生徒たちの興味関心の幅が広がり、とても充実した時間となりました。

りました。

〈参加した生徒の感想〉

○まだまだ未知である宇宙への探究も、日常生活に多く潜んでいる化学もどちらもワクワクする楽しさがあって、理系の分野の奥深さを実感することができました。当たり前のことを疑うことで、日常がより面白くなると気付かされた有意義な時間でした。



○生命倫理の授業にとっても興味を持ちました。学問だけでなく、道德なども関係している考え方が、自分にとって新しい考えでした。理屈だけでは説明できないような、正解がない問題にルールを定めるのはとても難しく感じました。

○なんでも試してみることが大事だと教わりました。先生方が「元からものすごく何かに興味があるというよりも、とある小さなきっかけで自分の今の道がある」ということを仰っていたので、自分もできる限りたくさんのかを経験して、自分の好きなことを発見したいです。



サイエンス・カフェを実施しました！

アラカルト講座終了後、講師の先生方と自由に会話ができる「サイエンス・カフェ」を行いました。1年次だけでなく、探究活動の進め方や進路に悩む2年次や3年次の生徒も集まり、多くの生徒が参加しました。自分の受講した講座以外の先生のお話を聞いたり、講座内で気になったことを質問したり、進路についての相談をしたりと、話が尽きることがなく、あっという間の時間でした。生徒だけでなく、教員も参加し、先生方との会話を楽しみました。



〈参加した生徒の感想〉



○サイエンス・カフェに参加したことで、アラカルト講座で学ばなかった講座内容についても知ることができ、とても有意義な時間になりました。質問に対して、どの方も分かりやすく簡潔に答えてくださいました。新たな視点や意見、研究の様子や大学についてなど、普段の生活では知り得なかった話もお聞きすることができ、本当に貴重な経験になりました。

○たくさんの先生方とお話して、自分の知識が深まりました。進路が決まらないという相談をすると、先生方から「若い頃にたくさん悩んでおいたほうがいい」「いろんなことに挑戦してみたらいい」とアドバイスをいただきました。先生方の仕事についてもお話を聞け、将来に向けて考える良い機会になりました。

